

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で17細胞/ml確認されました。また、二枚貝を着色させる可能性のあるミリオネクター ルブラが最大で35細胞/ml確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、貝毒の原因種であるプランクトンは確認されませんでした。また、栄喜の奥の狭い範囲において、ノクチルカによる海水への着色が見られました。今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日は、海水1mlでプランクトンの検鏡を実施しております。)

調査時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	ギムノディニウム カテナータム	アレキサンダー リウム属	ミリオネクター ルブラ
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*2	*3	
ヒロウラ(別図①) 透明度:11.5m 採水時間:9:38	0	19.2	29.33	6.994	0	0	0	4
	5	19.8	34.33	6.873	3	0	0	0
	10	19.9	34.48	6.828	17	0	0	0
栄喜の奥(別図②) 透明度:11m 採水時間:10:07	0	19.8	31.90	7.221	4	0	0	35
	5	20.1	34.43	7.407	0	0	0	1
	10	19.9	34.43	7.495	0	0	0	0
狸々箸(別図⑥) 透明度:12m 採水時間:9:54	0	19.8	30.68	6.773	0	0	0	19
	5	20.5	34.60	7.212	1	0	0	7
	10	19.9	34.56	7.054	6	0	0	3

*1: 魚類を死滅させる恐れがある種 *2: 魚類を弱らせる可能性がある種

*3: 麻痺性貝毒の原因種

